

BAP認証ニュースレター

2021年10月



日本生活協同組合連合会様よりBAP認証商品のリリース

日本生活協同組合連合会様(以下：日本生協連様)はBAP認証のサーモンを使用した国内初のPB商品「CO・OPスモークサーモントラウト切り落とし」を10月より順次販売すると発表しました。

日本生協連様では2018年6月に採択した「[コープSDGs行動宣言](#)」に基づき、環境や社会に配慮した主原料を使った商品をシリーズ化した「コープサステナブル」シリーズを展開されております。

「海の資源を守る」「森の資源を守る」「オーガニック」の3つのテーマで取り組み、今回の「CO・OPスモークサーモントラウト切り落とし」を含めて、取扱商品は2021年10月時点で84品目となっております。

リリース内で日本生協連様より

BAP認証のサーモンを使用した国内初のPB商品 ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場のすべてでBAP認証を取得しています。BAP認証は現在北米市場を中心に普及しており、日本生協連では「CO・OPスモークサーモントラウト切り落とし」を第一号商品として、今後取り扱いを増やしてまいります。と頂いております。

世界水産物連盟のマーケットディベロップメント副代表スティーブ・ハートは「責任を持って調達された水産物を調達するという彼らの強いコミットメントの基に活動を行う日本生協連様は称賛に値します。

彼らは、責任を持って調達された水産物を日本の消費者に提供し、教育することに関して、日本の小売業のリーダーの一人です。」と述べています。

リリース掲載ページは[こちら](#)

リリース全文は[こちら](#)



「CO・OPスモークサーモントラウト切り落とし」



生産地のチリでの養殖の様子

世界水産物連盟のホームページリニューアル

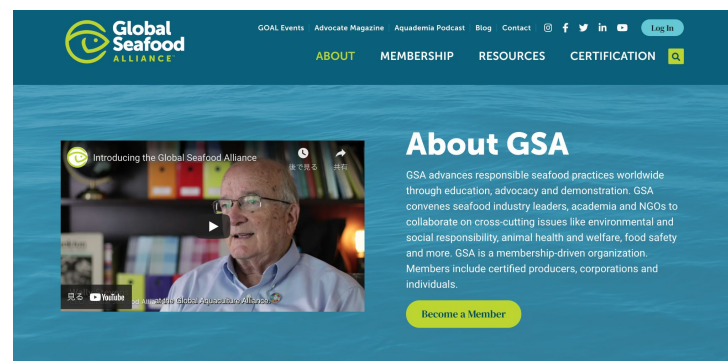
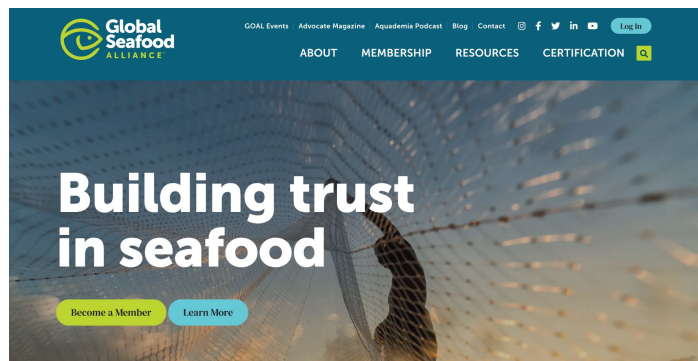
この度、リニューアルされた世界水産物連盟（GSA）のホームページが正式に公開されました。

<https://www.globalseafood.org/>

SDGsに関して、弊団体としてまた水産業界としての優先事項を 17のゴールのうちから、以下 7つ設定しております。

2: 飢餓をゼロに 5: ジェンダー平等を実現しよう 8: 働きがいも経済成長も 10: 人や国の不平等をなくそう
12: つくる責任つかう責任 13: 気候変動に具体的な対策を 14: 海の豊かさを守ろう

こちらのホームページを基に、養殖に関しては BAP認証、天然水産物に関しては BSP認証、またGOAL国際会議、マガジン、ブログ、ポッドキャスト、各 SNSのページに移動する事が可能です。



バングラデシュ・シュリンプ・アンド・フィッシュ・ファンデーション(BSFF)との提携について

世界水産物連盟(GSA)は、バングラデシュの小規模エビ養殖業者を活性化するために、バングラデシュ水産局の世界銀行融資によるプロジェクトでバングラデシュ・シュリンプ・アンド・フィッシュ・ファンデーション(BSFF)と提携しました。ブラックタイガーシュリンプ(*Penaeus monodon*: 以下、ブラックタイガー)の養殖を活性化します。

2003年以前は、ブラックタイガーが世界のエビ生産を支配していましたが、この役割は、ホワイトスポット病ウイルスの解決策として特定病原体不在(SPF)パシフィックホワイティシュリンプ(*Litopenaeus vannamei*: 以下、バナメイ)の導入によって覆われました。2018年までに、バナメイの生産は500万トン近くに急増しました。これは、ブラックタイガーの生産量の8倍に相当します。ブラックタイガーの生産はほぼ横ばいであり、主に小規模な養殖場に限定されており、補助飼料なしで非常に低密度で養殖されています。低密度のブラックタイガーは、サイズが大きく、自然な色素沈着と温室効果ガス排出量が少ないため、本質的に高い価値がありますが、個々の養殖場は少量を収穫するため、加工業者に直接販売することは現実的ではありません。代わりに、仲介業者が複数の養殖場からの生産を集約し、まとまった収穫物を加工業者に輸送しますが、多くの場合、配達が遅れ、品質が低下します。

このプロジェクトは、小規模養殖場のクラスターの形成を促進して、それらの集約的な収穫量を増やし、それらが加工業者に直接販売できるようにします。また、国際規格への準拠を保証するための第三者認証の採用と、グレードA製品の生産を奨励するための厳格な製品品質グレードを奨励します。このアプローチにより、優れた品質、国際認証、低温温室効果ガス排出を備えた、大きく、自然に着色されたブラックタイガーが得られます。これらのユニークな属性は、より大きな消費者の信頼と満足、国際市場でのプレミアム価格、小規模養殖業者への魅力的な利益、そしてブラックタイガー生産の持続可能な開発を生み出すことが期待されています。

その後のステップには、SPF親魚から生産された高品質の後期仔魚による養殖場の生産性の向上、低温温室効果ガス排出の原料からの補助飼料、およびThe Center for Responsible Seafood(TCRS)との協力による教育プログラムが含まれます。このプロジェクトの成功はまた、他の生産国の小規模なブラックタイガー養殖場に利益をもたらす、世界中のブラックタイガー市場の活性化に役立つことが期待されています。

英語の原文はこちらをご覧ください。(世界水産物連盟ブログ)

<https://www.globalseafood.org/blog/bangladesh-black-tiger-shrimp-project/>



東京サステナブルシーフード・サミット2021(TSSS)へのブース出展

世界水産物連盟は、10月11, 12, 13の3日間に渡り開催される東京サステナブルシーフード・サミット2021(TSSS)へのオンラインブース出展をおこないます。

SDGs達成目標年2030年に向け、新フェーズに突入した日本で開催する今年のTSSSでは、サステナブルな日本の水産の実現のカギとなるDX(デジタル・トランスフォーメーション)、ESG投資に着目。日本と世界各地をオンラインでつなぎ、各種専門家やフロンティアランナーが最新の知見を持ち寄り、サステナブルシーフード・ムーブメントのネクストステップを描きます。

出展ブースでは、世界水産物連盟について、BAP認証、BSP認証についてのご紹介をしております。団体説明、各種資料を揃えておりますのでTSSS2021参加の皆様と、チャット機能などを通して交流が図れればと思っております。ぜひ、皆様のお取引先様にも情報共有をお願い致します。

東京サステナブルシーフード・サミット2021公式サイト

<https://sustainableseafoodnow.com/2021/>



東京サステナブルシーフード・サミット2021

Global Seafood Alliance 世界水産物連盟(Global Seafood Alliance)

"世界水産物連盟 (GSA) は、世界水産物連盟 (GSA) にリブランドされました。GSAは、教育、政策提言、および第三者認証を通じて責任ある水産物の実践を促進する国際NGOです。GSAのビジョンは、世界の消費者が責任ある水産物の実践を信じ、果たすことができる世界の未来を創出することです。GSAへの移行は、完全な生産チェーンのBest Aquaculture Practices (BAP) 認証と責任ある水産物の実践を促進することです。以前はすべて責任ある水産物の実践を促進してきており、この移行は、天然資源への関心の高まり、特にBest Aquaculture Practices (BAP) 認証の開始と天然資源の持続可能な管理および教育活動がこれまでの責任ある活動と同様に重要になることを反映しています。"

GSAの活動は、持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献することに注力しています。その活動は、1. 気候変動への対応、2. 海洋資源の持続可能な管理、3. 人や国の不平等をなくそう、12. つくる責任つかう責任、13. 気候変動に具体的な対策を、14. 海の豊かさを守ろう等です。GSAはSDGsの目標達成に向けて取り組む活動の多くは、BAP認証およびBSP認証を通じて、測定可能な成果を通じて行われます。

強力なマーケティングサポートを通じてBAP認証の成功の長い歴史は、2021年には3,000軒以上BAP認証生産者、30歳以上をカバーし250万トンの養殖水産物まで成長しております。

BSP認証は労働環境と、漁船および加工工場におけるIUU漁業の排除に焦点を当てています。BSP認証は、漁業の持続可能な管理のためのGSSIベンチマークした認証プログラム。加えてBSP認証の責任ある漁船基準 (RFVS) および水産加工工場基準 (GPS) により安全な保証を提供します。RFVSとGPSをGSSIベンチマークを認めている認証のいずれかとも組み合わせることにより、BSP認証は、BAP認証が提供する様々なより完全なサプライチェーン保証を要します。

ウェブサイト
<https://www.globalseafood.org/about-gsa/>



企業・製品紹介

BAP認証エンドーサービデオ
BAP認証を説明した1分45秒のビデオです。

資料アップロード

世界水産物連盟の2020年の年次レポート。世界でのBAP認証の広がりを様々な面からハイライトしています。

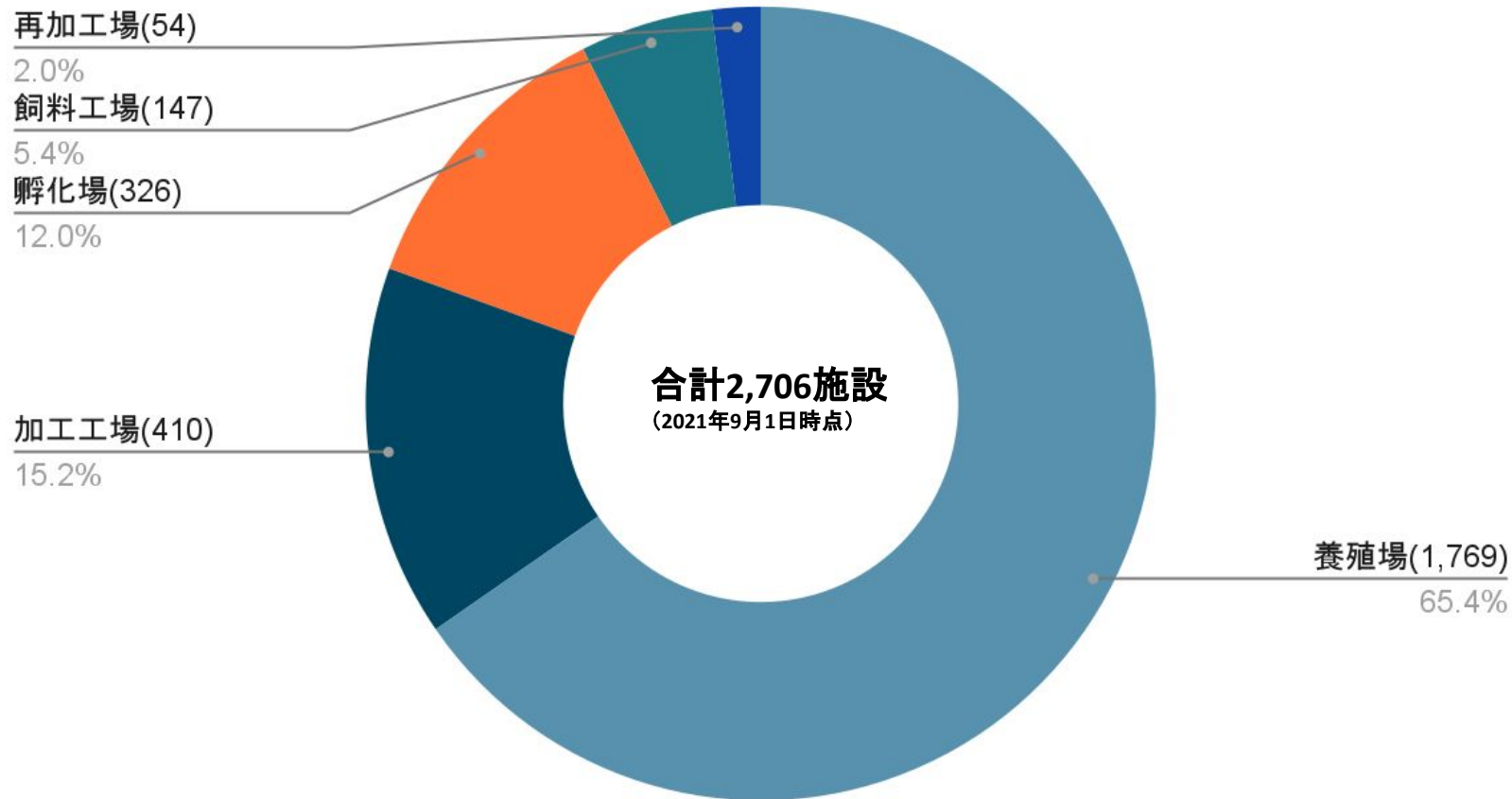
ダウンロード

養殖業に関するファクトシートです。画一なBAP認証の広がりやGAAのさまざまな取り組みが紹介されています。

ダウンロード

世界での認証施設数

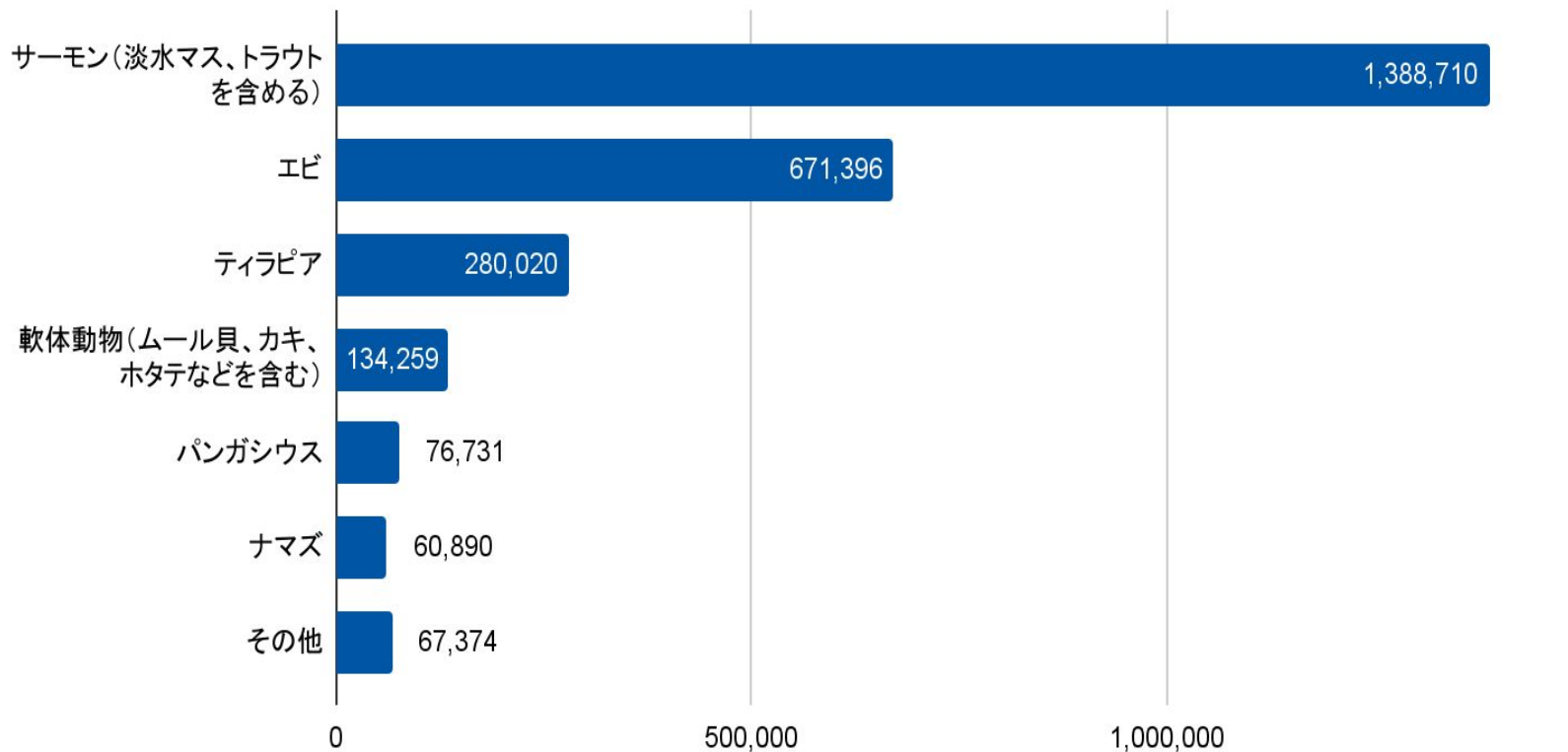
世界でのBAP認証施設数(2021年9月1日時点)



2021年9月1日時点のBAP認証施設数は2,706軒です。
※こちらの数字は各施設の直近の監査結果より集約されております。

魚種別の認証生産量1

2021年9月1日時点（単位:トン）

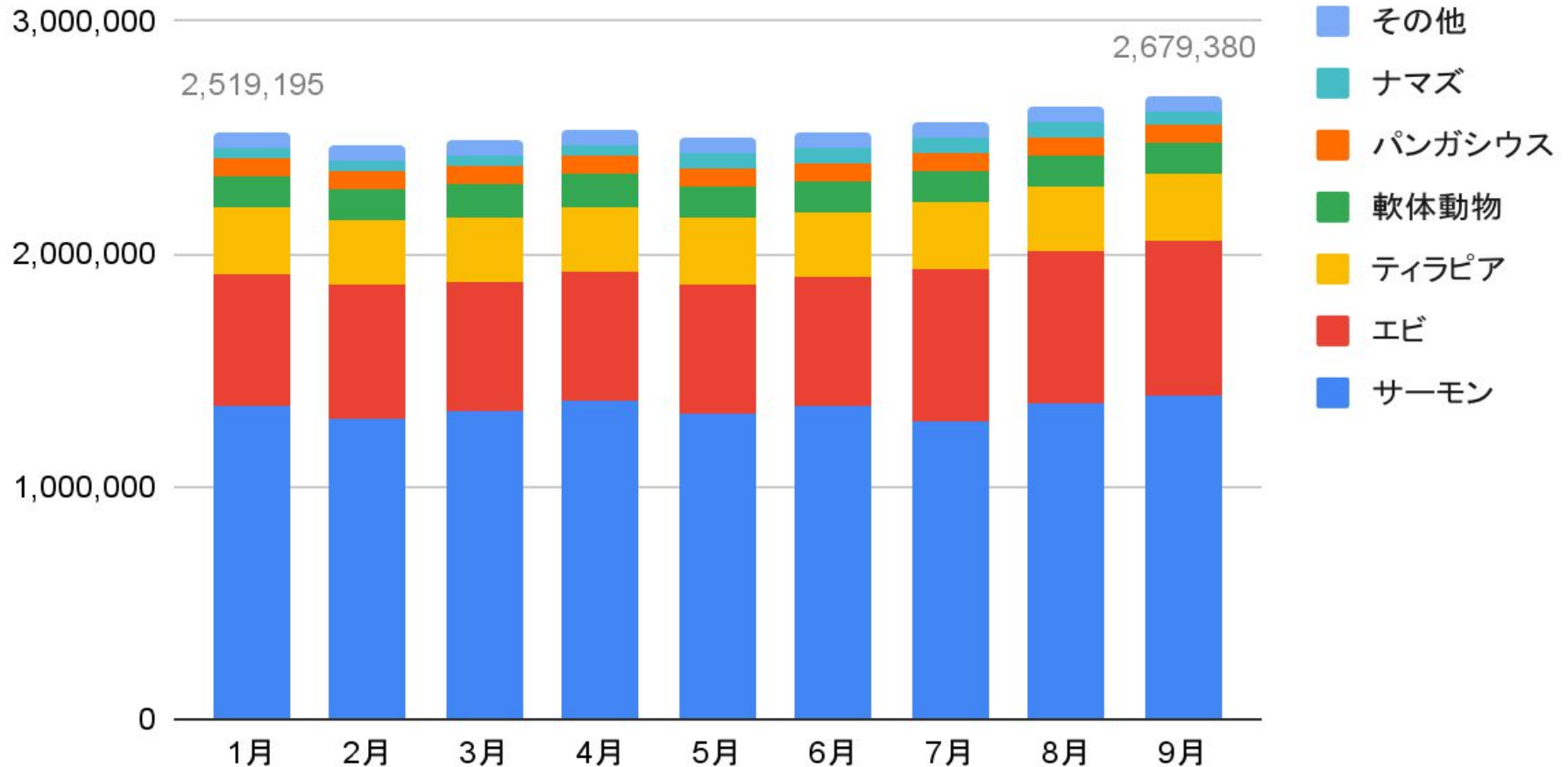


2021年9月1日時点、BAP認証水産物の世界合計は **2,679,380トン**です。

※こちらはBAP認証を取得している全養殖場の直近の監査結果からの数字です。
基本的には2020年1月～2020年の12月まで(カレンダー一年)の生産量になります。

魚種別の認証生産量2(年間の推移)

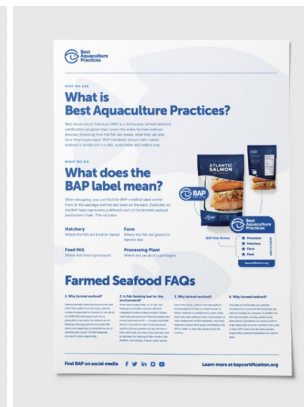
2021年9月1日更新(単位:トン)



※こちらはBAP認証を取得している全養殖場の直近の監査結果からの数字です。
基本的には2020年1月～2020年の12月まで(カレンダー一年)の生産量になります。

BAP認証フェアの企画大募集中です！

BAP認証を運営するGSAではマーケティングサポートも積極的に行っております。
共同でのイベントをご希望の方は日本マーケット担当芝井までご連絡下さいませ。
それぞれのイベントのご要望に合わせて打ち合わせをさせて頂き、必要に応じてポスター、ポップ、
その他ビデオ、ステッカー等々を 無料にてデザイン、納品 致します。
※必要枚数の印刷に関しては各企業様でご負担を頂けます様お願い致します。



Front (4" x 6")



Back (4" x 6")

マーケティングサポート用にご用意ができる資料は以下をご参照下さいませ。

<https://drive.google.com/file/d/1COWGrAKVCVoEldZzmsOcSIXJZHcQ5-5h/view?usp=sharing>

マーケットとして導入しやすいBAP認証

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象になり、年に一度の監査が必要になります。
商品の加工が発生しないサプライヤー、小売、社員食堂やレストランなどのフードサービスはエンドーサー合意書の締結のみで、無料でBAPロゴの使用やリリース、レポート等での発信が可能になります。

特例1: 個別包装された商品を開封、再梱包またはラベルの張り替えをせず、商品の梱包やラベルをそのままの状態での流通する場合について。その施設は加工工場認証の取得対象外になり、エンドーサー合意書の締結のみ必要となりBAPロゴ付き商品として、そのまま販売して頂けます。

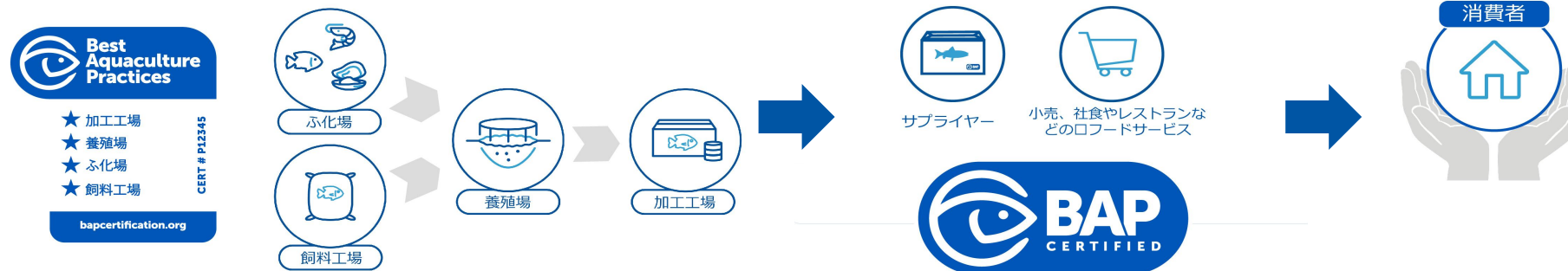
特例2: 最終消費現場での商品の加工、調理、再包装、またラベル張り替えをする場合は加工工場認証の対象外となり、エンドーサー合意書の締結のみでロゴを使用いただけます。(スーパーのバックヤード加工、飲食店・レストラン・ホテルの調理場加工など。)

また、複数の水産物を使用した製品に関して、使用された一部の水産物がBAP認証であればロゴマークを使用することができます。可能な限りどの水産物がBAP認証なのかを明記してください。

詳しくは<https://japan.bapcertification.org/Marketing>よりBAP認証ロゴガイドラインをご参照ください。

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象となります。

BAP認証水産物を販売促進または購買支援する企業はエンドーサー契約の対象となります。



BAP認証の日本語版の各種資料について

BAP認証に関する日本語の三つ折りパンフレットや、各種資料は以下のリンク先より無料ダウンロードすることができます。是非ご活用下さいませ。

<https://japan.bapcertification.org/Marketing>

GAAとBAP認証のご案内



Download

養殖漁業ファクトシート



Download

BAP認証ロゴガイドライン



2019年 年次レポート



魚と人の
未来のために



責任ある
養殖水産物の
国際基準



国際基準を満たした環境で
養殖されています



海と魚を守る安心の
BAPマーク



BAP認証ニュースレターに関する
お問い合わせは以下までお願い致
します。
※二次利用をご希望の方はお問い合わ
せ下さいませ。

BAP認証日本マーケット担当
芝井幸太

メールアドレス：
kota.shibai@globalseafood.org

電話番号：
080-2167-0086

BAP認証ウェブサイト
<https://japan.bapcertification.org/>

※配信停止をご希望の方は、こちらまで「配信停止」とご連絡くださいませ。